

鮎川

日野小学校だより 第3号 令和6年6月1日



子どもたちが植えたサフィニアが花をつけ始めました

一人一人がきらりと輝く 学校がきらりと輝く 花の学び舎
日野小は地域とともに歩みます

藤岡市立日野小学校
校長 近藤 明浩

稚鮎の放流を行いました。

5月17日、市長様、議会議長様、市議の方、区長の皆さま、烏川漁協の皆さまなど多くの皆さまにお世話になり、今年度も稚鮎の放流事業に全校児童が参加しました。放流にあたり、関係者の皆さまからは「鮎が育つためには川をきれいにすることが大切」であることを聞いた児童は、あらためて自分たちの住む日野地区の「鮎川」をきれいに保つことの大切さについて思いを深めた様子でした。子どもたちは自分で用意したバケツに稚鮎を入れてもらい、漁協の方の指導のもと、稚鮎がバケツから出て行くまで静かに見守っていました。稚鮎は流域の3カ所に、7,500匹を放流しました。放流を終えた子どもたちからは、「大きくなってね」などの声が聞かれました。



日野小学校では、今後も日野の恵まれた自然環境を活かした教育活動を進めていきます。関係者の皆さま、大変お世話になりました。ありがとうございました。

更生保護女性会日野支部の皆さまよりプレゼントをいただきました。

5月14日のお昼休みに、更生保護女性会の皆さまが学校を訪れ、新1年生の児童に入学祝いのプレゼントをいただきました。1年生の児童も最初は緊張の面持ちでしたが、プレゼントを受け取りとてもうれしそうでした。また、「学校には慣れた？」と声をかけられ力強くうなずいていました。更生保護女性会日野支部の皆さま、素敵なプレゼントをありがとうございました。地域の皆さまの見守りのおかげで、日野小の子どもたちは安全・安心に生活できています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



プール清掃お世話になりました。

5月15日、保護者の方、地域住民の方、学校運営協議会の方など、6名の地域の皆さまにお世話になりプール清掃を実施しました。プールの水を抜きながらブラシ等でこすっていく作業は根気のいるものですが、地域の方のご協力により、すっかりきれいになりました。地域の皆さまの作業と並行して、子どもたちはすのこを出したり、ごみを片付けたりと、高学年の児童を中心にテキパキと作業を進めました。子どもたちは早くも水泳の学習が楽しみなようです。ご参加いただいた地域のボランティアの皆さま、ありがとうございました。おかげさまで今年度も子どもたちの水泳学習が実施できます。



作業前に円陣を組んで士気を高めています

日野小学校のプールでの水泳学習は今年度が最後で、来年度からは会場をみずとびあ藤岡を移して行われます。

サフィニア・サツマイモを植えました。



5月17日にサフィニアの苗を、5月20日にサツマイモの苗をそれぞれ植えました。サフィニアはプランターへの定植後、2階教室のベランダに運びました。鮎川団・金山団に分かれての作業となりましたが、日野小の子が立派だなと感じるのは、必ず上学年の子が下学年の子に声をかけ、一緒に手伝ってやっているところです。団別活動は異学年交流が目的の一つですが、日野小の子どもたちは、学年関係なく仲良く協力して活動ができます。今後の団別活動も、力を合わせて取り組み、子どもたちの協働性や思いやりの心を育んでくれるはずですよ。

今回の実施したサフィニアの定植は、「花の学び舎づくり」の一貫として行っています。花が咲き誇り、ベランダをきれいに彩るのが今から楽しみです。また、サツマイモの苗は体育館の裏の学校園に植えました。業務員さんに植え方を教わりながら、1人4本ずつ苗を植えました。収穫できたサツマイモは、焼き芋にして保護者の方々と一緒に楽しむ予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

JRC登録式を行いました。

5月22日の業前活動で、JRC登録式を行いました。児童会本部の子が中心となって、JRC活動のことについて、赤十字社を創設したアンリー・デュナン のことや、青少年赤十字の理念、(健康・おもいやり・国際交流など)、日野小で取り組むこと(レッドリボン運動など)について、プレゼンデータをもとに説明がありました。その後、それぞれの学年が登録書を校長に提出し、児童全員がJRCに登録されました。JRCの理念の一つ「気付き」「考え」「行動する」ことは、今年度子どもたちにお願いをした「自ら考えやってみる」と共通する部分が多々あります。日野小の子どもたちが思いやりをもった行動が取れるよう学校でも支援していきます。地域・家庭においてもそのような言葉かけ、会話、アドバイスをお願いいたします。



児童会の発表が大変立派でした

平井小学校との連携が進んでいます。



日野小学校は、「西連携型小中一貫校」として、様々な教育活動で美土里小・平井小・西中との連携を進めています。特に一番近い学校として平井小との授業・行事の交流は活発に行われています。

先日は5年生が、社会科の工業の学習の一環として行う「SUBARU自動車工場見学」を平井小と合同で実施するため、その事前学習を平井小で行っています。また、4年生が、同じく社会科の群馬県の学習の一環として行う「県庁・県警見学」を平井小と合同で実施するための事前学習を平井小で行いました。参加した児童は、少し緊張した様子でしたがすぐに打ち解けて一緒に学習活動を行っていました。これは数年前から実施してきた交流の成果だと思われます。このことが、日野小の児童が西中学校に入学したときのギャップ解消にもつながってきているように思われます。(日野小の子が入学時に上手く集団活動が取れないとの西中からの情報提供が減っていることから)5月中には、1・2年生の交通安全教室、6年生の租税教室が行われるなどさらに交流が活発になります。今後も、一貫校として西中校区の他校と連携を深めていきます。

「ウェスト・ドリーム・プラン」を西中校区に全戸配付しました。

本稿「鮎川」の配付に併せて、日野地区の全世帯に「ウェスト・ドリーム・プラン」を配付しました。(この取組は西中校区全体で行っています)「ウェスト・ドリーム・プラン」は、西連携型小中一貫校の「めざす子ども像」の実現に向けて、子ども、学校、家庭、地域それぞれが「力を入れること」をまとめたものです。これからの社会に生きる子どもたちに、(知識のみでは生きていくのが困難な時代に)社会性・協働する力・自己肯定感・ルールやマナーなど様々な「生きる力」を身に付けさせるためには、学校だけではなく、家庭・地域が一体的に子どもの成長を支援する必要があります。「ウェスト・ドリーム・プラン」は西中校区の子どもたちを支援するための「羅針盤」となるものです。ぜひ内容をご確認の上、各事項について子どもたちへの支援をお願いします。(できましたら見返しやすくするために、家庭内のどこかに掲示していただけるとありがたいです)



子どもたちの健やかな成長をご支援ください

「失敗力」を高める。(5月の朝礼での校長講話より)

5月の朝礼で「失敗力」の話をしました。トーマス・エジソンの電球の開発を例に、「失敗することは決して無駄にはならない。失敗から学ぶことは多い」「失敗を恐れない」「友だちの失敗を責めない(チャレンジしたことを認める)」ことを子どもたちにお願いをしました。これからの時代はまさに「自ら切り拓く」時代になるのだと思います。子どもたちが「失敗」から学べるよう、支援していきます。



6月の行事予定

3日	(月)	西中校区あいさつ運動 プール開き 委員会③15:15下校	13日	(木)	1・4年眼科検診
4日	(火)	尾瀬ネイチャーラーニング事前学習[平井小合同]	14日	(金)	4年尾瀬ネイチャーラーニング[平井小合同]
5日	(水)	人権集会 4年清掃センター・浄水場見学[平井小合同]	17日	(月)	職員会議 14:30下校
6日	(木)	1年給食センター見学[平井小合同] 学校巡回文庫	22日	(土)	家読の日
7日	(金)	1年心臓検診	27日	(木)	学校保健委員会(5校時)
10日	(月)	クラブ① 15:15下校	□毎週火曜日の業前は、ボランティアさんに「読み聞かせ」をしていただきます。 □5/27(月)から6/7(金)までは人権学習週間です。人権についての学習を業前活動や児童会活動、道徳や特別活動などで行います。		
12日	(水)	6年古墳見学			